

〈文献紹介〉最近刊行の地図の本を巡って (2)

SHIMIZU, Yasuo / 清水, 靖夫

(出版者 / Publisher)

法政大学地理学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

JOURNAL of THE GEOGRAPHICAL SOCIETY OF HOSEI UNIVERSITY / 法政地理

(巻 / Volume)

26

(開始ページ / Start Page)

54

(終了ページ / End Page)

55

(発行年 / Year)

1997-09-30

【文献紹介】

最近刊行の地図の本を巡って II

ここ1・2年に発行された地図の本について、その後と補遺を兼ねながら、例によって独断と偏見で綴ってみた。

『訪ねてみたい地図測量史跡』 山岡光治著
古今書院 B5判 1996. 12. 2575 円

今までこの種の本が無かったのが不思議であった。もつとも地図・測量の知識が無ければ、なかなか書くのは無理と言うもの。本の内容を見ると、著者は相当な業界の経験者とみたが、実は国土地理院の新進気鋭のコンピュータシステムの専門家である。

体裁は1頁あるいは見開き2頁で1項目が完結するように編集されている。各頁その位置を表わす地形図とその写真、解説でセットになっており、関連項目も分かるようになっている。さらにゆかりのお土産まで（例えば地図サブレ）記載されているところもある。

内容はそれぞれの地方編になっており

北海道・東北	24	中国四国九州沖縄	14
関東	17	海外・全国	10
東京	24	おすすめ史跡めぐり	2
中部・近畿	27		

ヶ所からなっている。

地図史や測量史の入門書としても面白いし、巡検の際立ち寄るのにも良い案内書であり、地誌や郷土史に深みを付ける格好の参考書とも言えよう。

『九州地図で読む百年』 平岡昭利編
古今書院 B5判 1997. 3. 2800 円

かつて先輩の山口恵一郎氏等と日本各地の主として都市地域を、地形図を時系列的に配列し、それぞれの地域の地理学者に、簡単な解説を付してもらった『日本図誌体系』（朝倉書店）を編集したことがあった。また、藤岡謙二郎氏は『地形図に歴史を読む』で、見開き2頁を使い地誌的な解説

を主体としたシリーズを編集した。いずれも大方の好評を得たが、「古くならない地図」地図の本作りであったが、次第に売れ行きの足が遅くなってきたようで、そんな時に表記の本がでた。本書は最古と最新の地形図を見開きで見せながら地域の地誌的解説を試みている。

採用されている地域は、各県庁所在地のほか、北九州、久留米、大牟田、鳥栖、ほか主要都市、有明海沿岸、島原・雲仙、桜島、笠野原の諸地域である。5万分1あるいは2万5千分1（旧図は一部2万分1を縮小）地形図して使われている。九州の地誌テキストとして、好適であろう。

『アジアの地図 いまむかし－文化史散歩』
堀 淳一著
(株)スリーエーネットワーク A5判 1996. 12. 2800 円

アジアに関する古地図や地図について書かれたものは、日本、欧米のみならず現地でも、きわめて少ない。中国については、日本や中国の研究者が、韓国では最近学校教育用の地図帳に若干載るようになった。アジアの多くの国では、植民地としておかれたり、戦火に見舞われ、研究どころではなかったし、多くの物が失われもした。

そんな地域の古地図類と、その背景にある文化を繙くことで成果としての地図を理解させようとしている。そのためには従来あまり世界史の中で触れられてこなかったアジア各国の歴史と、その文化史についても語られている。従来から「地図史における進歩主義史観」に対するアンチテーゼを掲げる著者の思いが込められた著書でもある。そして現在の地図類にまで及んでいる。内容は

- I イスラーム世界の地図
- II インドの地図

Ⅲ 中国の地図

Ⅳ 中国を囲む地域の地図

Ⅴ インドシナの地図

Ⅵ インドネシア・フィリピンの地図

と地域分けをして、述べられている。アジア諸国の宗教、文化や興亡について、地図に行き着くまで多少まどろっこしいかもしれない。どの頁からも新しい発見が期待できる。

『地図で歩く鉄道の峠』

今尾恵介著

けやき出版 B6 判 1997. 5.

1500 円

著者は、地図が好きで脱サラをし、ついに地図作製のプロになった人で、いままでも、多くの啓蒙的かつ共感を得るような著作を多くものにしていて。本書もまた、地形図をふんだんに使っている。本書もまた、地形図をふんだんに使っている。肩の凝らない紀行文である。著者は鉄道は勿論、地図・地理にも造詣が深く、歴史的な事象をはじめ、軽い文体ながら、教えられるところが多く、意外な事実を知らされるところも少なくない。「上越国境、碓氷峠、笹子峠、丹那トンネル、生駒山を越える、大畑ループ線」をはじめ、「地図で見る全国鉄道山越え図鑑」は 38 ケ所に及んでいる。

いずれも、実際に汗をかいて、足で書かれたものであり、参考になるところ大であるとともに、チャレンジしたくなる所が多い。

『5 万分 1 地形図作製・所蔵目録国土地理院』

日本地図センター複製発行 1997. 4. A4 判

3143 円

陸地測量部以来、現在まで刊行された 5 万分 1 地形図の、総ての測量・修正年記を網羅したリストで、国土地理院が所蔵するもの、国会図書館のもの、若干の個人蔵のものから作製した。一覧図が 5 葉添付されている。

従来からどの図幅は何年に測量され、何時修正されたのかを調べる術がなかった。また地形図は秘密の扱いを受け、闇の彼方に姿を消されてしまったものもある。

418 頁で厚さが 1.5cm, 1 万 8 千余の項目からなり、そこに記載されている地図の大部分は、国土地理院（関東測量部）でコピーが可能である。地域の調査や研究に寄与するところ大きい刊行物である。

〔清水靖夫・立教高校〕